

9/15 大阪府歯科保険医協会 敬
 大 発 行 人 志 岐 敬
 大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
 電 話 (06) 6568-7731 (代 表)
 http://osk-net.org/
 2014年第1181号 ● 定 価 ・ 年 間 10,000円 月 1,000円
 (毎月5、15、25日発行) ● 1977年5月23日第三種郵便物認可



安倍政権が社会保障「改革」で医療費を狙い撃ちにし、患者負担の大幅増を計画・実行するなか、協会・保団連は政府の社会保障費削減路線と対峙し、①窓口負担の軽減②保険範囲の拡大の実現をめざして新たな請願署名に取り組み、協会は会員の積極的な協力を呼びかけている。
 (署名用紙は今号に同封)

ストップ患者負担増

窓口軽減 保険拡大 を求めて新署名

安倍政権は「骨太の方針」に基づき、社会保障費の自然増も含め、「聖域なく見直し、効率化・適正化」することを掲げ、医療費削減を強行している。70〜74歳の窓口負担を順次2割に引き上げ、入院ベッド数の削減を計画。さらに、事実上の混合診療である「患者申し出療養」の導入を決めた。

今後、▽入院時食事代の自己負担増▽紹介状無しで大病院を受診した場合の定額自己負担▽国保の都道府県単位化による保険料の値上げ―などを打ち出している。「消費税増税による社会保障の充実」は反故にされ、国民負担ばかりが増やされている。

国民負担が増えれば、受診中断・受診抑制は増加する。特に歯科医療への影響は大きく、患者数の減少は避けられない。協会は、国民皆保険制度を守り、誰もが経済的に不安なく受診・治療でき

ることを求め、新署名に11月末まで取り組む。署名の要請項目は、①患者負担をこれ以上増や

さず、窓口負担を大幅に軽減する②保険のきかない医療を広げる計画をやめ、必要な医療は公的保険で保障する―ことの二つ。秋の臨時国会へ提出し、来年度予算案への反映を訴える。

指導・監査の改善求め

日弁連が意見書

日本弁護士連合会は、健康保険法に基づく指導・監査制度の改善に関する意見書を8月22日に取りまとめ、同25日に厚労相・各都道府県知事に提出した。

意見書では、指導・監査が保険医らに対する「診療報酬の返還請求や保険医指定取消処分などの不利益処分に至る契機

おおさか医科・歯科九条の会
 女性医師・歯科医師の会
 女性初の大阪弁護士会長
石田法子さん講演
 「日本社会への提言
 ~弁護士として、女性として」
 日時：10月25日(土)
 午後3時~5時
 会場：M&Dホール
 会費：無料 定員：100人
 ※お申し込みは協会事務局まで

基軸 危機に瀕する 医療・介護 ⑥

全国保険医団体連合会 寺尾正之



医療・介護総合法に基づき「改革」は、歯科医療にも影響を及ぼす。厚労省は10年間で外来患者数を5%削減する計画を立てている。そのために

「外来診療の効率化」を打ち出し、大病院・総合診療専門医・一般開業医・歯科開業医といった形で外

歯科も「適正配置」の対象

外来の「効率化」で削減を懸念

医療・介護総合法に基づく「改革」は、歯科医療にも影響を及ぼす。厚労省は10年間で外来患者数を5%削減する計画を立てている。そのために「外来診療の効率化」を打ち出し、大病院・総合診療専門医・一般開業医・歯科開業医といった形で外

科治療や専門的口腔ケアが求められる。医療・介護総合法に盛り込まれた改定歯科衛生

今日の数字
101兆円
 2015年度予算の概算要求総額。公共事業の拡大で国交省予算16%増。財政再建はどこに。

士法では、これまで歯科医師の「直接の指導」と規定されていた歯科衛生士の業務が、歯科医師との他歯科関係者との「緊密な連携」に変わった。政府の国会答弁では、歯科衛生士が▽予防処置としてフッ化物塗布などを

となる性格を有している」と指摘。適正な手続きに基づく処遇を受ける権利を保障するために、指導・監査の改善を求めた。日弁連は、改善・配慮すべき点として、▽選定理由の開示▽指導対象とする診療録の事前指定▽弁護士への立会権

歯界

世界選手権 大会と言って もマスターズ なんか高齢者の寝たきり防止くらいと 軽視していたら、当人は若者以上に目を輝かせてがらばっている。

卓球は年齢別カテゴリーが多く、年々経たれば誰でも行けるのかと思っ ていたら国内予選も厳しいらしい。エントリーする元氣な高齢者の数が多いからで、医療人としては誇らしいことである。助手一人を雇う収入もなく長年夫婦で働いていると「患者自身がたかが歯くらいと思っっているのをなんで二人がかりで面倒みたらんのかな」と不満が溜まるが、古女房が外国へ出かけ一人診療になると点数相応の省力診療で少しは気が晴れる。古女房の方も長年の命の面から一時解放されて 独身気分を謳歌できる。とは言え本来の目的は勝負である。負けたら塞ぎ、勝てばいい気分。日頃の経済生活とは別の価値観で数日を過ごす。ただ、どちらがバリーヤルなのか簡単には判別しにくい難儀な生き物が人間である。